

- 家庭・地域における男女共同参画の推進

1 家庭、地域、職場におけるバランスのとれた生活への支援

事業	平成22年度事業実施概要	担当室
仕事と生活の調和推進のための環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・企業経営者、人事労務担当者等を対象とした「ワーク・ライフ・バランスセミナー」を県内5ヶ所（四日市市、津市、伊賀市、松阪市、伊勢市）にて開催し、基調講演や積極的な取組を行っている企業等による事例発表などを実施し、取組の推進に向けた普及・啓発を行った。 参加者数:222人 	生活・文化部勤労・雇用支援室
次世代育成支援のための環境整備及び一般事業主行動計画策定の啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員100人以下の県内中小企業に労働環境の整備や労務管理等の対応ができる法律知識を有するものが次世代育成支援促進アドバイザーとして訪問し、次世代育成支援の周知・啓発、取組の促進を行うとともに、一般事業主行動計画の策定・届出に向けた支援をした。 次世代育成支援対策にかかる周知・啓発訪問企業 120社 一般事業主行動計画の策定・届出企業 26社 	健康福祉部こども未来室
親の学びの機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・「早ね早おき朝ごはん」キャンペーンの開催 53回 参加者数24,692人 ・高校生の「親育ち」講座の実施 16校 参加者数 3,560人 	健康福祉部こども未来室
家庭教育資料の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育資料「親なびリーフレット」及び「みえの子育て子育て応援通信」を発行した。 年4回発行（親なびリーフレット1回(8カ国言語)、「みえの子育て子育て応援通信」3回） 	健康福祉部こども未来室
子ども家庭相談・子ども医療ダイヤルの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに関する相談窓口として「子ども家庭相談」を実施するとともに、小児科医師が対応する「小児夜間医療・健康電話相談（みえ子ども医療ダイヤル）」を実施した。 相談件数 7,731件 （医療ダイヤル6,899件、子ども家庭相談832件） 	健康福祉部こども家庭室、医療政策室
保育士等からの相談窓口を設置	<ul style="list-style-type: none"> ・総合教育センターに保護者や保育士、幼稚園教諭からの相談に対応する窓口を設置している。 相談件数 230件 	教育委員会事務局研修企画・支援室
ファミリー・サポート・センターの設置促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー・サポート・センターのアドバイザーに対し相互援助活動に関する研修会を実施した。 	健康福祉部こども未来室

事業	平成22年度事業実施概要	担当室
男女共同参画フォーラムの開催	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、全体会、ワークショップ、基調講演、シンポジウム、パネル展などを開催した。 日時：平成22年11月12日（金）、13日（土） 参加人数：延べ644人 直前の講師変更による影響等から、男性の参加者目標40%を下回る結果となった。 [実績25%] 	生活・文化部男女共同参画・NPO室
男性講座の実施	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、男性の地域・家庭等への参画を啓発する講座「男性講座」を開催した。 [子育て世代] 1回開催 27人 [定年世代] 1回開催 23人 	生活・文化部男女共同参画・NPO室
地域で活躍できる人材育成講座	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、地域で活躍できる新しい人材育成を目的とした講座を市町と連携し開催した。 私の“おもい”を発信したい！～子育て、暮らし、働き方など～ 全6回 参加者数：延べ111人 	生活・文化部男女共同参画・NPO室

2 多様なニーズに対応した子育て支援

事業	平成22年度事業実施概要	担当室
子ども家庭相談・子ども医療ダイヤルの実施	<ul style="list-style-type: none"> 子どもに関する相談窓口として「子ども家庭相談」を実施するとともに、小児科医師が対応する「小児夜間医療・健康電話相談（みえ子ども医療ダイヤル）」を実施した。 相談件数 7,731件 (医療ダイヤル6,899件、子ども家庭相談832件) 	健康福祉部こども家庭室、医療政策室
保育士等からの相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> 総合教育センターに保護者や保育士、幼稚園教諭からの相談に対応する窓口を設置している。 相談件数：230件 	教育委員会事務局研修企画・支援室
多様な保育等への支援	<ul style="list-style-type: none"> 低年齢児保育、延長保育、一時保育、休日保育、病児回復期保育等の多様なニーズに対応する取組への補助を行った。 一時保育実施数：60か所 延長保育実施数：166か所 休日保育実施数：11か所 病児回復期等の病児の病後児保育事業実施市町村：11市町 	健康福祉部こども家庭室
預かり保育の支援	<ul style="list-style-type: none"> 預かり保育を実施している私立幼稚園に対し、一部を助成した。 助成幼稚園数：52か所 	生活・文化部生活・文化総務室
放課後児童クラブの設置・運営支援	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブの設置・運営にかかる経費の一部を助成した。 運営費補助件数：272件 放課後児童クラブの指導員等を対象に研修を実施した。 開催回数：2回 	健康福祉部こども未来室
親の学びのプログラムの普及	<ul style="list-style-type: none"> 親の学びのプログラムを普及した。 合計 103講座 「親なびワーク」出前講座 68講座 2,102人 「親なびワーク」進行役養成講座 25講座 593人 「親なびワーク」単独実施講座 10講座 175人 	健康福祉部こども未来室
障がいのある乳幼児・児童生徒及び保護者への一貫した支援	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達支援ネットワーク事業において2市4町（6地域）をモデル地域に指定し、地域支援員、関係機関等による保育所・幼稚園への巡回相談及び情報連携ツールとしての「個別の就学支援ファイル」の活用により、情報共有と関係機関の連携に努め、障がいのある子どもの早期からの一貫した支援を実施した。 	教育委員会事務局特別支援教育室
ファミリー・サポート・センターの設置促進	<ul style="list-style-type: none"> ファミリー・サポート・センターのアドバイザーに対し相互援助活動に関する研修会を実施した。 	健康福祉部こども未来室

事業	平成22年度事業実施概要	担当室
<p>自分発見！中学生 ・地域ふれあい事業の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来の生き方や進路を模索し始める中学生を対象に、学校、家庭、地域社会が協働して職場体験活動を実施した。 中学生参加者数：14,889人 (県内21市町の136中学校で実施) 	<p>健康福祉部こども未来室</p>
<p>みえ次世代育成応援ネットワーク事業の拡充</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代育成支援の具体的な取組を進めるため、みえ次世代育成応援ネットワークの会員企業・団体の拡大を図った。 新規加入会員 53団体・企業 ・11月の「子ども虐待防止啓発強化月間」において、約100の会員企業・団体が取組に参画し、県が実施するキャラバンへの参加や会員独自の活動を行った。 ・子どもや子育て家庭を中心に、さまざまな人の交流を図り、社会全体で子育てを応援する気運を醸成するため、「子育て応援！わくわくフェスタ」を実施した。 開催日：平成23年1月29日～30日 開催場所：四日市ドーム 出展団体・企業等：153団体・企業 参加者数：約25,000人 	<p>健康福祉部こども未来室</p>

3 介護を支援する環境の整備

事業	平成22年度事業実施概要	担当室
ホームページでの情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・県のホームページにおいて高齢者福祉・介護保険に関する様々な情報を提供した。 	健康福祉部長寿社会室
介護サービス等に関する相談	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県国民健康保険団体連合会等が介護サービス利用者や家族等からの相談、苦情に対応した。 	健康福祉部長寿社会室
介護保険相談・苦情・事故発生時の対応マニュアルの配布	<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスに関する相談・苦情があったときや、事故が発生したときの対応マニュアルを全ての介護サービス事業所、保険者（市町等）に配付し、介護サービスの質の向上を図るための情報を共有した。 	健康福祉部長寿社会室
老人福祉施設等の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉施設等を整備した。 [主な整備数] 特別養護老人ホーム(地域密着型を含む) 7 施設 360 床 介護老人保健施設 1 施設 40 床 養護老人ホーム 1 施設 50 床 	健康福祉部長寿社会室
介護支援専門員の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員（ケアマネージャー）実務研修受講試験及び実務研修を実施した。 [受験申込者] 2,185人 [累計登録者] 7,751人 [実務研修修了者] 476人 研修修了者数 専門研修課程 225人 専門研修課程 483人 実務従事者基礎研修 156人 主任介護専門員研修 113人 	健康福祉部長寿社会室
地域包括支援センター運営の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア体制の支援にかかる連絡会を開催した。開催回数 1回 ・介護予防事業従事者向け研修会を開催した。開催回数 3回 	健康福祉部長寿社会室
総合支援センターにおける障がい者の相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ・県下9障害保健福祉圏域に設置されている総合相談センターにおける相談を実施した。 相談登録者数 6,114人（平成22年度末） 	健康福祉部障害福祉室

4 男女共同参画の地域づくりの支援

事業	平成22年度事業実施概要	担当室
男女共同参画フォーラムの開催	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、全体会、ワークショップ、基調講演、シンポジウム、パネル展などを開催した。 日時：平成22年11月12日（金）、13日（土） 参加人数：延べ644人 直前の講師変更による影響等から、男性の参加者目標40%を下回る結果となった。 [実績25%] 	生活・文化部男女共同参画・NPO室
男性講座の実施	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、男性の地域・家庭等への参画を啓発する講座「男性講座」を開催した。 [子育て世代] 1回開催 27人 [定年世代] 1回開催 23人 	生活・文化部男女共同参画・NPO室
地域で活躍できる人材育成講座	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、地域で活躍できる新しい人材育成を目的とした講座を市町と連携し開催した。 私の“おもい”を発信したい！～子育て、暮らし、働き方など～ 全6回 参加者数：延べ111人 	生活・文化部男女共同参画・NPO室
出前トーク等の実施	<ul style="list-style-type: none"> 年間 106回 （うちフレンテトーク54回、出前フレンテ25回） 対象：市町、各種団体等 	生活・文化部男女共同参画・NPO室
ユニバーサルデザインアドバイザー養成講座を実施	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインのまちづくりにおいて、リーダー的な役割を果たせる人材を養成するため実施した。 県内1地域(津)で実施 受講者 26人 登録者 21人 	健康福祉部健康福祉総務室
ボランティア活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアセンターにおいて、ボランティア活動に関する情報提供及びボランティアコーディネーターの養成研修を実施した。 集合研修 6回 32人参加 修了者17人 地域研修 6ヶ所で開催 	健康福祉部社会福祉室
事業での託児実施	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」が主催する全ての事業について託児を実施。総合文化センターでは、一部の主催事業で託児を実施した。 	生活・文化部男女共同参画・NPO室
情報誌の発行・ネットワーク化の支援	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動ボランティアニュースを発行(毎月1万部)するとともに、NPO等の活動やネットワーク化の支援を行った。 	生活・文化部男女共同参画・NPO室

事業	平成22年度事業実施概要	担当室
消防団活性化促進事業	<ul style="list-style-type: none"> 女性が参画しやすい自主的な消防防災活動の展開を支援するため、三重県消防協会と協働して、地域で活動する女性消防団員に対する研修会等を開催した。 三重県青年・女性消防団員研修会及び交流会 平成22年10月3日（日） 場所：津都ホテル 参加者数：175人（うち女性128名） 	防災危機管理部消防・保安室
三重県地域防災計画の修正	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災計画の22年修正にあたり、「防災思想・防災知識の普及計画」において男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の確立に努めるよう記述した。 	防災危機管理部防災対策室
女将の会への活動支援	<ul style="list-style-type: none"> 観光プロデューサーのノウハウ等を活用し、榊原温泉女将の会「糸さくら」や湯の山温泉女将の会「きらら」の活動に対する助言等を実施した。 	農水商工部観光・交流室